

最低賃金改定によりさらなる経費負担増加に懸念

一部業種で再値上げを検討、収益確保に苦慮

～景況DI値は、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス21.0～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 9月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比78.9ポイント上昇のプラス42.0、前年同月比26.3ポイント上昇のマイナス21.1。非製造業では、前月比78.8ポイント低下のマイナス47.3、前年同月比15.8ポイント低下のプラス5.3。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比同水準のプラス10.5、前年同月比26.3ポイント上昇のプラス26.3。非製造業では、DI値前月比21.0ポイント低下のプラス5.3、前年同月比5.3ポイント低下のプラス36.8。

収益状況 製造業では、DI値前月比21.0ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比15.8ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比同水準のプラス21.0、前年同月比5.3ポイント低下のプラスマイナス0。

資金繰り 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス5.2、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス15.8。非製造業では、前月比26.3ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス5.3。

雇用人員 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比15.7ポイント低下のマイナス31.5。非製造業では、前月比21.0ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比同水準のプラス5.2。

景況 製造業では、DI値前月比同水準のマイナス26.3、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス31.6。非製造業では、前月比21.1ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比10.6ポイント低下のマイナス23.7、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス21.0となった。製造業では、稼働日数の少なかった8月からの反動により9月は売上高、収益状況ともに好転となったものの、依然として長引く原材料価格等の高止まりが収益圧迫の要因となっており、厳しい状況が続いている。非製造業では、9月は3連休が2回あったことで観光関連を中心に前月に引き続き好調を維持したものの、光熱費、燃料代等物価上昇の要因により、消費マインド低下が継続している。県内景況は、全業種で原材料等仕入れ価格の高止まりが継続しているうえ、10月の最低賃金改定によりさらなる経費負担の増加が懸念される。また、一部業種では相次ぐ価格上昇に対応するためさらなる値上げを検討せざるを得なくなるなど、収益確保に苦慮している。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

9月の全国倒産は、件数741件で、(前年同月679件、9.1%増)と、29カ月連続で前年同月を上回った。9月としては、2014年(785件)以来、10年ぶりに700件を超えた。負債総額は1311億8700万円(前年同月6951億1000万円、81.1%減)と、前年同月を大幅に下回った。

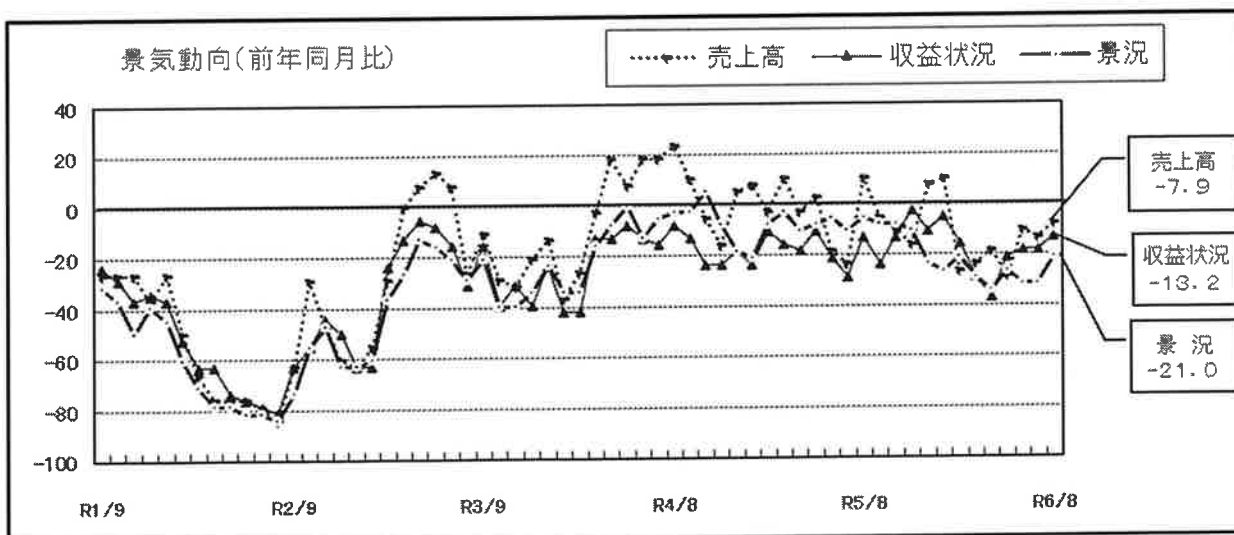
一方、9月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数3件(前月1件)、負債総額は11億3000万円(前月2500万円)であった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報8月分」)

鳥取県の8月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.22倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.23倍)で、前月より0.03ポイント下回った。各所別有効求人倍率(原数値)では、鳥取所1.08倍、米子所1.38倍、倉吉所1.25倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.48倍(季節調整値)で、前月より0.28ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比13.0%減少し、有効求人数も10.0%減少となった。産業別に前年同月で比較すると、建設業(8.4%)、サービス業(1.0%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比13.1%減少、有効求職者数は前年同月比1.5%増加となった。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.05倍で、前年同月比で0.23ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ22.8%減少した。



9月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	47.4%	5.3%	42.0 78.9	5.3%	52.6%	-47.3 -78.8	26.3%	28.9%	-2.6 0.0
(2)在庫数量	15.8%	10.5%	5.3 15.8	0.0%	25.0%	-25.0 -41.7	9.7%	16.1%	-6.4 -6.4
(3)販売価格	15.8%	5.3%	10.5 0.0	21.1%	15.8%	5.3 -21.0	18.4%	10.5%	7.9 -10.6
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	0.0%	2.6%	-2.6 0.0
(5)収益状況	10.5%	26.3%	-15.8 21.0	5.3%	26.3%	21.0 0.0	7.9%	26.3%	-18.4 -10.5
(6)資金繰り	5.3%	10.5%	-5.2 0.0	0.0%	10.5%	-10.5 -26.3	2.6%	10.5%	-7.9 -13.2
(7)設備操業度	10.5%	10.5%	0.0 31.5						
(8)雇用人員	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	0.0%	10.5%	-10.5 -21.0	2.6%	13.2%	-10.6 -8.0
(9)景況	5.3%	31.6%	-26.3 0.0	0.0%	21.1%	-21.1 -21.1	2.6%	26.3%	-23.7 -10.6

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	26.3%	47.4%	-21.1 26.3	31.6%	26.3%	5.3 -15.8	28.9%	36.8%	-7.9 5.3
(2)在庫数量	5.3%	26.3%	-21.0 -5.2	8.3%	0.0%	8.3 -16.7	6.5%	16.1%	-9.6 -9.6
(3)販売価格	36.8%	10.5%	26.3 26.3	42.1%	5.3%	36.8 -5.3	39.5%	7.9%	31.6 10.5
(4)取引条件	5.3%	21.1%	-15.8 -5.3	10.5%	10.5%	0.0 5.2	7.9%	15.8%	-7.9 0.0
(5)収益状況	15.8%	42.1%	-26.3 15.8	21.1%	21.1%	0.0 -5.3	18.4%	31.6%	-13.2 5.2
(6)資金繰り	10.5%	26.3%	-15.8 10.5	15.8%	10.5%	5.3 15.8	13.2%	18.4%	-5.2 13.2
(7)設備操業度	15.8%	15.8%	0.0 31.6						
(8)雇用人員	5.3%	36.8%	-31.5 -15.7	10.5%	5.3%	5.2 0.0	7.9%	21.1%	-13.2 -7.9
(9)景況	10.5%	42.1%	-31.6 10.5	15.8%	26.3%	-10.5 10.6	13.2%	34.2%	-21.0 10.6

*D Iとは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 価格転嫁は概ね完了したものの、原材料及び副資材などの価格は過去3年間で20%アップしており、今後もさらなる価格上昇も考えられるため再値上げを検討している。

醤油⇒ 令和5年度産の米が品薄状態となり一時店頭からなくなるなど価格高騰が続いていた。令和6年度産も出回ってきたが価格も高止まり状態が続いている。海外産の大豆も円安の進行が続いており価格高騰が続いている。業界としては製品の値上げで対応しているが、収益改善には至っていない。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 人件費上昇や物価高騰の影響への対応として加工単価について価格転嫁を図りたいが、発注元の理解は得られにくい状況が続いている。

ニット製品⇒ 需要、供給の状況は慢性的に供給過剰であり、国内メーカーとして今般の人件費等のコストアップを受注先に要求できる状況にない。閑散期となるが、長期に渡り低迷が続いており、特段の変化は見られない。

【家具装備品】

⇒ 物価高騰等の影響により運送コストをはじめとする経費負担の増加が続いており業況は厳しい。

【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で増加、前年同月比で横ばいとなった。製材品の生産量は前月比で横ばい、合板の生産量は前月比、前年同月比とも減少した。合板については製造元が8月以降値戻しに向けて生産調整に入っていることが一部影響している。素材、製品の仕入については品質的によい時期ではあるが、輸入材、合板の価格動向が予測しにくい状況で在庫減による必要数の補充が大半となっている。プレカット加工の稼働率は前月比40%増加、前年同月比は30%増加で推移した。

【紙・加工品】

和紙⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比で同水準、前年同月比で減少となり、引き続き業況は厳しい。

【印刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、10月に県内各地で開催されるねんりんピックにより需要が高まり、9月中の納品も無事に終えた。心配された夏枯れの影響はそれほどなく、安定した業績を維持した。デジタル印刷への移行が進むなか、地道に見積もりを作り続けることが新たな商機を生み、業界全体の持続可能な成長を支えている。地方自治体との連携も業界の活性化に一役買っており、デジタル化と地域密着型サービスの提供が今後の鍵となっている。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 9月の生コン出荷量は、前月比で約52%増加、前年同月比で約47%増加となった。東部地区では昨年夏の豪雨に係る災害復旧工事案件が増えつつあるが、少量出荷や遠方の現場が多い上に大型案件が少なく仕事量と見合っていない。中部地区では前年割れが続き低調に推移していたが、9月は前年同月比を

上回る動きを見せた。西部地区では受注は年度当初低調であったが、9月は前年同月比を上回る動きを見せた。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 電炉メーカーが大幅な値下げを発表した。鋼材需要の低迷が続いており、国内市況は軟化傾向、国際市況の下落もあり市況は下げ傾向が強くなっている。値下がりが明確になり実際に物件が少ないなか、益々厳しさを見せている。建築関係は、県内物件は少なくなっている。価格転嫁も困難で、安値での競争により採算は悪化している。今後の物件も少なく、厳しい状況が続いているうえ、県外物件を受注している会社との格差が広がっている。機械加工は、自動機関連の受注が堅調。自動車関連は受注につながる動きが見られない。工作機関係は相変わらず厳しい状況が続いている。人件費の増加や諸経費の物価高騰が続いており、価格転嫁どころか低価格傾向により、採算は益々厳しくなっている。

鉄骨加工⇒ 9月に入り県内全体において新規見積り物件は少なく、受注済みの工場加工で凌いでいる状況。春から夏にかけて見積物件の動きも鈍く、年末年始の新規物件の受注見込みが立たず厳しい状況。従前からの建設資材の急激な値上げにより建設費が高騰し、新規建築物、設備投資への買い控えが進んでいる。また、スクラップ料金の値下げもあり、鋼材等の値下げにつながり今後の影響に注視が必要となっている。

金属熱処理⇒ 盆休みの影響により生産量が落ち込みを見せていた前月から、9月は通常の前月の生産量まで戻ったものの、コロナ禍前の生産量には回復していない。一部の顧客には新規受注等で生産量の回復が見られるものの、大多数の機械加工企業では受注減のまま多方面の営業活動に苦慮している。引き続き電力料金のほか資材が高騰したままで、利益を圧迫している。

【電気機械器具】

⇒ 中国経済の低迷に伴い製造も低迷が続いており、雇用や資金繰りに影響が出始めている。先行き不透明な状況が続いており回復の兆しが見えない。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、前月比では取扱数量が増加したものの、単価の低下により売上高は減少している。前年同月比では果実の取扱数量が減少したものの、単価の上昇により売上高は増加となった。鮮魚関係では、前月比で取扱数量、売上高ともに増加となった。前年同月比では取扱数量が増加したものの、単価の低下により売上高は減少した。最低賃金の引き上げがなされるが、最低賃金の上昇が収益好転につながるわけではないため、単純に収益を圧迫する要因となっている。

中部地区⇒ 令和6年度の最低賃金引上げの助成金や補助金の公募が終わり、システム導入案件はかげりがみえる。また昨今増加する豪雨災害に対応した止水板等の商品問い合わせが増えている。

西部地区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げによる今後

の影響が危惧される。10月の衆議院選挙による経済の停滞が懸念される。

水産物⇒ 巻き網は20～30gの小羽いわしの水揚げが続き、主に養殖魚向けの餌料として凍結され冷蔵庫の稼働は向上した。同魚種は九州地区でも水揚げがあり、販売単価は不安定のまま推移している。近海底引き物は順調な水揚げとなり、昨年激減したハタハタも一定の水揚げとなったが相対的にカレイ類の水揚げがまとまらず、全体的には浜高となった。紅ズワイ漁も天候に恵まれ昨年以上の水揚げとなったが異常な残暑が続く中、需要の伸びがみられず比較的安価な浜値となった。

リサイクル原料⇒ ペーパーレス化により古紙の発生が減少している。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、10月は最低賃金の改定に加え、従前からの人手不足もあり、経営状況の悪化から9月末で閉店する店舗が相次いだ。度重なる仕入れ価格の高騰も経営を圧迫しており、厳しい状況が続いている。9月に入り、3連休が2回あったことで観光客が増加し、宿泊、飲食関係は売上が増加した。観光客の増加により小売関係は土産関係が目立ったものの、その他の小売業などは厳しい状況。一向に原料高、光熱費、人件費等経費負担の増加は改善されず厳しさが増しているうえ、消費者の財布の紐は固く、節約志向となり消費マインドが低下している。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、9月は連休が2回あったものの、暑さのためか期待したほどの人流とはならなかった。少しずつであるが白壁土蔵群周辺には旅行者が戻ってきたが、その人流も商店街まで伸びてこず、状況は厳しい。9月はイベントもなく、寂しい月となった。10月は福高祭を予定している。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、9月は大きなイベントもなく、8月と比較すると人の動きは少なかった。冬にかけて高校生の商店街視察、フィールドワークの相談が増えてきている。

境港市の水産物小売では、9月の来場者数は想定より伸びなかった。昨年やコロナ禍前と比較すると観光バス等の立ち寄り増加が顕著であるため9月より始まったベニズワイガニ漁により今後の来場者の増加に期待が持たれる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、9月の観光客の入込数は減少傾向で推移し、2回の連休では鳥取砂丘、砂の美術館への観光客の入込数が増加し、それ以降も増加傾向で推移した。売上高は前月比で減少、前年同月比で増加となった。

米子市のホテル・旅館では、9月の宿泊者数は前年並みで推移し、売上高は前月比、前年同月比ともに同水準となった。原材料費、燃料費等、高騰しているものの、価格への転嫁ができています。人材確保面では、依然として人手不足が続いており厳しい状況。

三朝温泉では、3連休が2回あり、好天にも恵まれたことで多くの観光客で賑わった。大型の旅館では平日も団体客が多く入れ込んだ。

羽合温泉では、9月の宿泊は前月比約25%減少、前年同月比約10%増加となった。グランドゴルフ国際大会開催をはじめ、インバウンド客が昨年より増加したため、9月増加の要因となった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車・軽自動車を合わせて2,413台で前月比は普通車3

9.4%、軽自動車35.2%の増加、前年同月比は普通車2.2%、軽自動車6.3%の増加であった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて671台で前月比13.5%、前年同月比0.9%の減少であった。継続検査（軽自動車を含む）は15,209台で前月比20.2%の増加、前年同月比2.0%の減少であった。

【建設業】

⇒ 8月の県内公共工事発注（西日本建設業保証㈱保証取扱）は、請負金額83億円（前年同月比3.0%増）、件数185件（同0.5%減）となった。年度累計（令和6年4月～令和6年8月）は、請負金額514億円（前年同月比17.6%増）、件数939件（同15.1%増）となった。公共投資は5か月連続の前年同月比プラスとなった。設備投資は単月、3か月平均ともに連続で前年同月比プラスが続く。住宅投資は貸家系ではプラスが続く、持家系も単月で上振れをみせた。資材価格の高止まりや住宅関連を中心とした民需の不振は継続するも、堅調に推移する公共工事が下支えしている状況が続いている。特に民間工事では、人件費・輸送費等のコスト増に加え、酷暑による対策経費も発生し、さらに収益を悪化させている。

8月の鳥取県新設住宅着工戸数は127戸（持家124戸、貸家3戸）で、前月比45%減少、前年同月比23%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 9月の物流は、製造業の輸送量が概ね横ばいで推移したが、前月に続いて農作物の出荷量が極めて少なく、全体の輸送量としては低調な動きとなった。復路荷物の情報量は増加傾向ではあるが、相変わらず荷物の不足傾向は続いていて効率の悪い運行が見られた。売上は、稼働日数が少なかった前月比では増加しているものの、前年比は減少となった。燃料価格や人件費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、慢性的なドライバー不足の問題もあって、今後も厳しい状況に変わりはない。

西部地区⇒ 9月の燃料価格については、原油価格低下による要因があった半面、補助金調整、燃料元売業者価格変動により前月に続き若干上昇した。配車事業、燃料事業、高速事業について、前月に比べ若干、持ち直したものの引き続き厳しい状況が続いている。農産物運送は、カメムシ被害もあり運送量も大きく減少した。燃料高騰による価格の高止まり、物流2024年問題、人員不足と厳しい経営状況が継続している。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・業界全体のデジタル変革を推進する政策的支援を求める。【印刷業】
- ・大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・原材料費、電気代、ガソリン等の高騰に対する支援策を望む。【卸売業】
- ・景気回復に寄与する政策を打ち出してもらいたい。【商店街】
- ・ねんりんピックへのコラボイベント、県立美術館開館に向けたプレイベント、福高祭へ向けた支援を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上高	製造業	5.2	10.5	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	10.5	-36.9	42.0	36.8
	非製造業	-26.3	21.0	31.6	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	-31.6	15.7	31.5	-47.3	-21.0
	全業種	-10.5	15.8	10.5	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	13.2	-2.6	-2.6	7.9
在庫数量	製造業	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	21.1	-10.5	5.3	26.4
	非製造業	8.4	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-8.3	0.0	16.7	-25.0	-33.4
	全業種	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	12.9	0.0	-6.4	3.2
販売価格	製造業	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.2	10.5	10.5	26.3
	非製造業	-5.3	0.0	42.1	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	15.8	0.0	26.3	5.3	10.6
	全業種	-10.5	-7.9	18.4	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	7.9	2.6	18.5	7.9	18.4
取引条件	製造業	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.2
	非製造業	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	-5.3
	全業種	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	0.0	-2.6	-2.6	0.1
収益状況	製造業	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	-5.3	-36.8	-15.8	15.7
	非製造業	-21.0	26.3	26.3	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	15.8	21.0	21.0	42.0
	全業種	-26.3	7.9	5.2	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	5.3	-7.9	-18.4	7.9
資金繰り	製造業	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	-10.5	-5.2	-5.2	10.6
	非製造業	-26.3	0.0	10.5	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0	15.8	-10.5	15.8
	全業種	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	-5.2	5.3	-7.9	13.2
設備操業度	製造業	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	5.3	-5.3	-31.5	0.0	10.5
雇用人員	製造業	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	-5.2	-15.8	-10.5	0.0
	非製造業	-10.5	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0	10.5	-10.5	0.0
	全業種	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-2.6	-2.6	-2.6	-10.6	-0.1
景況	製造業	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	5.3
	非製造業	-5.3	10.5	15.8	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-31.5	0.0	0.0	-21.1	-15.8
	全業種	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-15.0	-13.1	-23.7	-5.3

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上高	製造業	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	-26.3	-47.4	-21.1	-5.3
	非製造業	36.9	26.3	5.2	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	5.2	21.1	5.3	-31.6
	全業種	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-10.5	-13.2	-7.9	-18.4
在庫数量	製造業	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-15.8	-21.0	0.1
	非製造業	8.3	-8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-8.4	-8.3	25.0	8.3	0.0
	全業種	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0	0.0	-9.6	0.1
販売価格	製造業	0.0	5.2	5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	26.3	26.3
	非製造業	47.3	42.1	52.6	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	31.6	26.3	42.1	36.8	-10.5
	全業種	23.6	23.7	28.9	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	13.1	13.1	21.1	31.6	8.0
取引条件	製造業	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	0.0
	非製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	0.0	-10.5	-5.2	0.0	10.5
	全業種	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	-10.6	-7.9	-7.9	5.3
収益状況	製造業	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	-26.3	-42.1	-26.3	21.0
	非製造業	21.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	0.0	-21.0
	全業種	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-18.4	-18.4	-13.2	-0.1
資金繰り	製造業	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	-10.5	-26.3	-15.8	15.7
	非製造業	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-10.5	-10.5	5.3	0.0
	全業種	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	-18.4	-5.2	8.0
設備操業度	製造業	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	-21.0	-31.6	0.0	31.5
雇用人員	製造業	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-10.6	-15.8	-31.5	-21.0
	非製造業	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	-15.8	5.2	5.2	5.2	15.7
	全業種	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-2.7	-5.3	-13.2	-2.7
景況	製造業	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	-36.8	-42.1	-31.6	-5.3
	非製造業	15.8	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-26.3
	全業種	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-31.5	-31.6	-21.0	-15.8

情報連絡員報告総括表(令和6年9月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名

回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況				
	増加	減少	増加	減少	上昇	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
食料品	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
繊維工業	0	3	0	0	0	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0
木材・木製品	4	0	2	0	1	3	0	0	4	0	1	2	0	3	0	0	3	1	0	0	0
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
出版・印刷	1	1	0	1	0	2	0	0	2	0	1	0	0	2	0	0	1	1	1	1	0
化学ゴム																					
窯業・土石製品	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉄鋼・金属	0	1	0	2	0	0	1	0	2	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
一般機器	2	1	0	0	3	0	1	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送用機器																					
その他																					
19	9	9	1	3	14	2	3	15	1	0	19	0	2	12	5	1	16	2	2	15	2
100%	47.4%	47.4%	5.3%	15.8%	73.7%	10.5%	15.8%	78.9%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%
卸売業	0	4	2	0	5	1	1	4	1	0	6	0	0	5	1	0	6	0	0	0	0
小売業	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商店街	0	2	2	0	3	1	2	2	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	0	0
サービス業	0	2	3				0	4	1	0	5	0	0	3	2	0	3	2	0	0	0
建設業	0	0	1				1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
運輸業	1	0	1				0	1	1	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0
その他																					
19	1	8	10	0	8	3	4	12	3	0	18	1	1	13	5	0	17	2	2	0	15
100%	5.3%	42.1%	52.6%	0.0%	66.7%	25.0%	21.1%	63.2%	15.8%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	68.4%	26.3%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%
38	10	17	11	3	22	5	7	27	4	0	37	1	3	25	10	1	33	4	2	15	2
100%	26.3%	44.7%	28.9%	9.7%	71.0%	16.1%	18.4%	71.1%	10.5%	0.0%	97.4%	2.6%	7.9%	65.8%	26.3%	2.6%	86.8%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%

情報連絡員報告総括表(令和6年9月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	1	0	1	0	1	1	2	0	0	0	2	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	1	
繊維工業	1	1	1	0	3	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	1	1	1	1	2	0	0	1	2	0	1	
木材・木製品	2	0	2	1	3	0	1	3	0	0	2	2	1	2	0	3	1	3	0	2	2	0	2	2	0	2	
紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	
出版・印刷	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	1	1	0	0	
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	
鉄鋼・金属	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	1	1	0	2	0	2	0	0	2	0	0	1	1	1	
一般機器	0	2	1	0	3	0	2	1	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	0	
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	
輸送用機器																											
その他																											
19	5	5	9	1	13	5	7	10	2	1	14	4	3	8	8	2	12	5	3	13	3	1	11	7	2	9	
100%	26.3%	26.3%	47.4%	5.3%	68.4%	26.3%	36.8%	52.6%	10.5%	5.3%	73.7%	21.1%	15.8%	42.1%	42.1%	10.5%	63.2%	26.3%	15.8%	68.4%	15.8%	5.3%	57.9%	36.8%	10.5%	47.4%	
非製造業	1	3	2	0	6	0	2	3	1	0	6	0	0	5	1	0	6	0	1	5	0	0	0	6	0	0	
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	
商店街	1	3	0	0	4	0	2	2	0	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	
サービス業	3	1	1				3	2	0	1	3	1	3	1	1	3	2	0	1	3	1	3	1	3	1	1	
建設業	0	1	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	
運輸業	0	0	2				0	2	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	2	
その他																											
19	6	8	5	1	10	0	8	10	1	2	15	2	4	11	4	3	14	2	2	16	1	3	11	5	5		
100%	31.6%	42.1%	26.3%	8.3%	83.3%	0.0%	42.1%	52.6%	5.3%	10.5%	78.9%	10.5%	21.1%	57.9%	21.1%	15.8%	73.7%	10.5%	10.5%	84.2%	5.3%	15.8%	57.9%	26.3%	26.3%		
38	11	13	14	2	23	5	15	20	3	3	29	6	7	19	12	5	26	7	3	27	8	5	20	13	13		
100%	28.9%	34.2%	36.8%	6.5%	74.2%	16.1%	39.5%	52.6%	7.9%	7.9%	76.3%	15.8%	18.4%	50.0%	31.6%	13.2%	68.4%	18.4%	7.9%	71.1%	21.1%	13.2%	52.6%	34.2%			